

大きなかにつかまえたよ

小坂井西小・2 かべや いちた

ぼくは、四人家ぞくぜんいんではぜをつりに行きました。場しよは、おじいちゃん、おばあちゃんの家の近くのおんまのみなとです。夏になると、この場しよによく来てはぜつりをしています。

さいしよは、たくさん引きがあつたので、お父さんが二ひきつて、お母さんが一ぴきつて、ぼくが一ぴきつれました。しかし、その後はつれなくなつたので、

「もう帰ろう。」

とお父さんが言いました。ぼくはとてもがっかりしました。さいあくだなど思いながら海を見たら、オレンジ色の何かがかべのへこみのところに見えました。

「え、かにじゃん。」

とぼくが言うと、みんながあつまってきました。ぼくと弟はどうしてもかにつかまえたくて、かいだんをおりて近づきました。

近くで見ると、目が赤くてきょうぼうそうな顔をしていました。

大きさは四十センチメートルくらいに見えました。あなの中が、まるでへやのように見えました。ぼくたちを見ると、一つしかないはさみでこうげきしようとしてきました。ぼくと弟は、ぼうできよだいがにをつつきつつ、はさみにぼうをはさませる作せんでいきました。二たい一のしよぶです。お母さんが、

「がんばれ。」

とおうえんしてくれました。かにがぼくにむかつてパンチをしました。弟にもパンチをくり出しました。たたかいは長くつづきましたが、かにがあなからにげようしました。ぼくは、にげられると思いました。あわててぼうをはさませました。ぼうが引きずられそうになりました。その時、お父さんが上からつりざおを下に下ろしてくれました。かにははさみでがしつとつりざおをはさみました。

「お父さん、そのままもち上げて。」

かには、そのままエレベーターのように上に上がりました。

「ナイス、お父さん。」

ぼくはうれしくて声をあげました。お父さんがバケツにかいを入れてくれました。バケツの中のかには、とても大きかったです。すごいパワーだったけど、みんながきょう力したからかてました。

ぼくは、うれしい気もちでいっぱい、バケツをもっておばあちゃんの家に行きました。おばあちゃんに

「これ何がに？」

と聞くと、

「どうまんがにだよ。」

と言いました。聞いたことのない名前です。お父さんがけいたいでけんさくすると、「どうまんがに」と出てきました。かにずきの人におすすめのかにで、売ると一万円するそうです。

「一万円？」

ぼくはびっくりしました。売ろうかと思ったけど、せっかくつかまえたから、あじを知ってみたいと思つて食べることにしました。

大おばあちゃんにゆでてもらうと、グツグツという音が聞こえて、かにはだんだん赤くなつていきました。さいしよオレンジ色だった

かには、ゆでると赤色になると分かりました。食べるのが楽しみでした。大きな声で、

「いただきます。」

と言つて食べました。一口食べてみると、とてもおいしかったです。まさに「かに」というあじで、こうきゆうなあじでした。気になるみそを食べてみると、にがみがあり、みも少しあつて、みもみそもおいしいんだと分かりました。こうしてしよくじをおえて、みんな

で
「ごちそうさま。」

と言いました。たつせいかんでみたされました。

こんどは、どうまんがにたくさんいる場しよに行つて、四ひきつかまえたいと思います。それからめすのさんらんの時も見たいです。